2021 年度
英語論文セミナー2021 オンライン講座（英語）
アンケート調査結果報告書

1)調査目的　本調査は、英語論文セミナー2021 において、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
2)調査対象　英語論文セミナー2021 当日受講者全員
3)調査方法　英語論文セミナー2021 終了後、メールにて Web アンケートへの回答を依頼
4)調査期間　2021 年 9 月 29 日（水）～10 月 13 日（水）

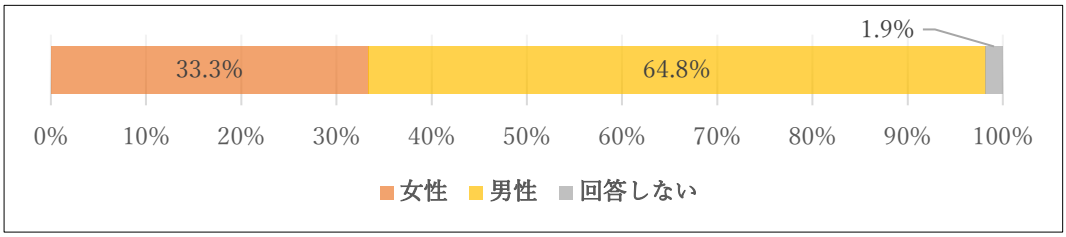
■アンケート集計結果

回答数　対象者　114 名　回答者　54 名　回答率　47.4%

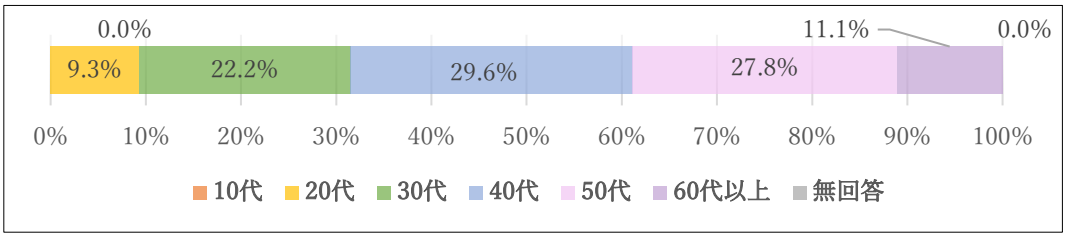
■アンケート調査結果

問．回答者の属性

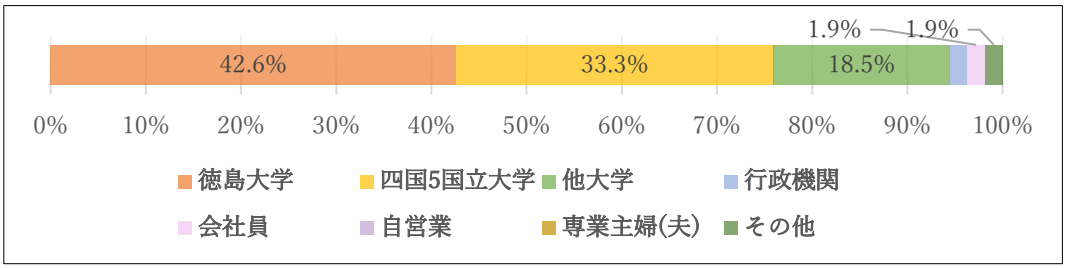
◆性別



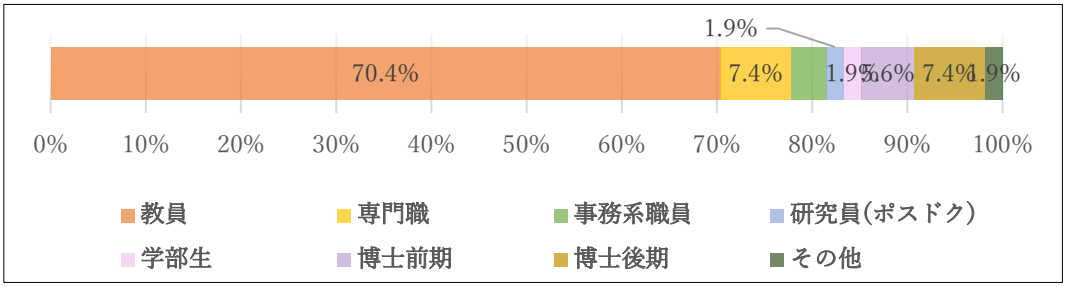
◆年齢



◆所属

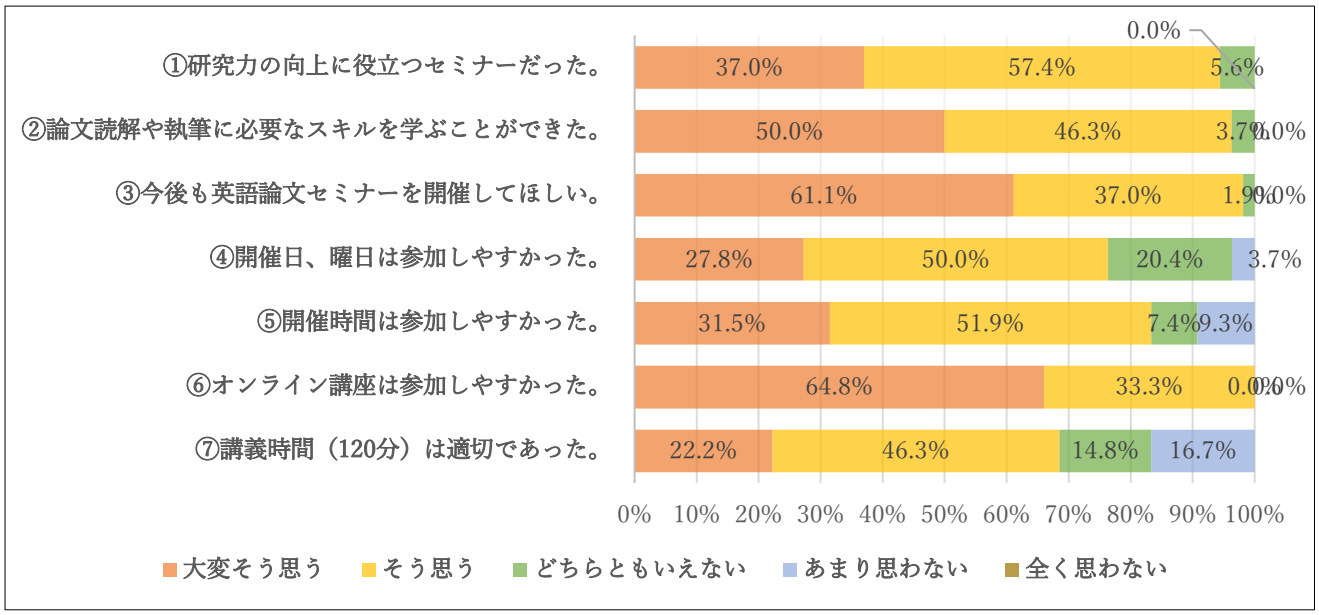


◆職種



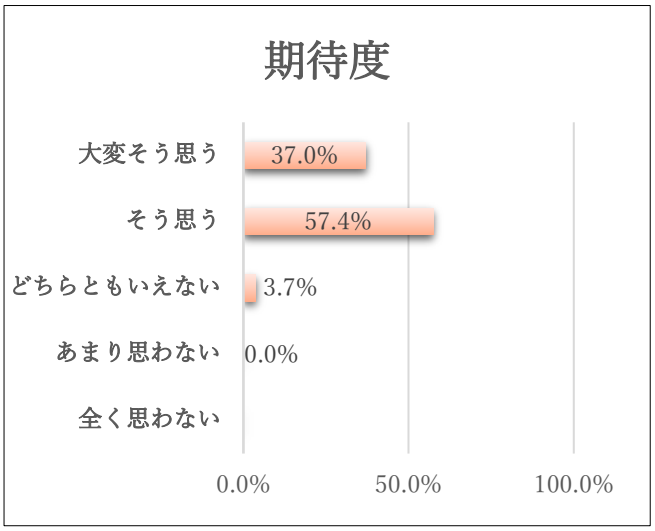
回答者の性別では、女性が 33.3%で男性が 64.8%であった。年齢は 10 代～30 代が 31.5%で、40 代以上が 68.5%であった。所属は、徳島大学が 42.6%で、他機関等の学外からは 57.4%であった。
職種は、教員が 70.4%と最も多く、次いで専門職と博士後期がともに 7.4%であった。

問．以下の質問事項について、該当する□にチェックをいれてください。

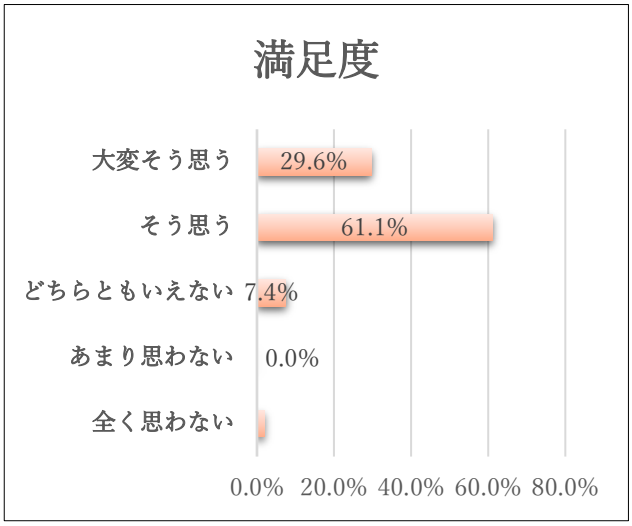


『研究力の向上に役立つセミナーだった』に対して 94.4%、『論文読解や執筆に必要なスキルを学ぶことができた』に対して、96.3%が『大変そう思う』『そう思う』と回答し、有意義なセミナーとなった。また、『今後も英語論文セミナーを開催してほしい』に対しては、98.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ニーズが非常に高いことがわかった。
開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催日、曜日』で 77.8%、『開催時間』で 83.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、ほぼ参加しやすい形式であったことがうかがえる。ただし『講義時間(120分)は適切であった』については肯定的回答が 68.5%であり、すべて英語の聞き取りとなるため、集中力の問題から90 分程度の開催を検討する必要性が明らかになった。
『オンライン講座』形式については、98.1%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、大変高い評価を得た。

・本セミナーに期待していた

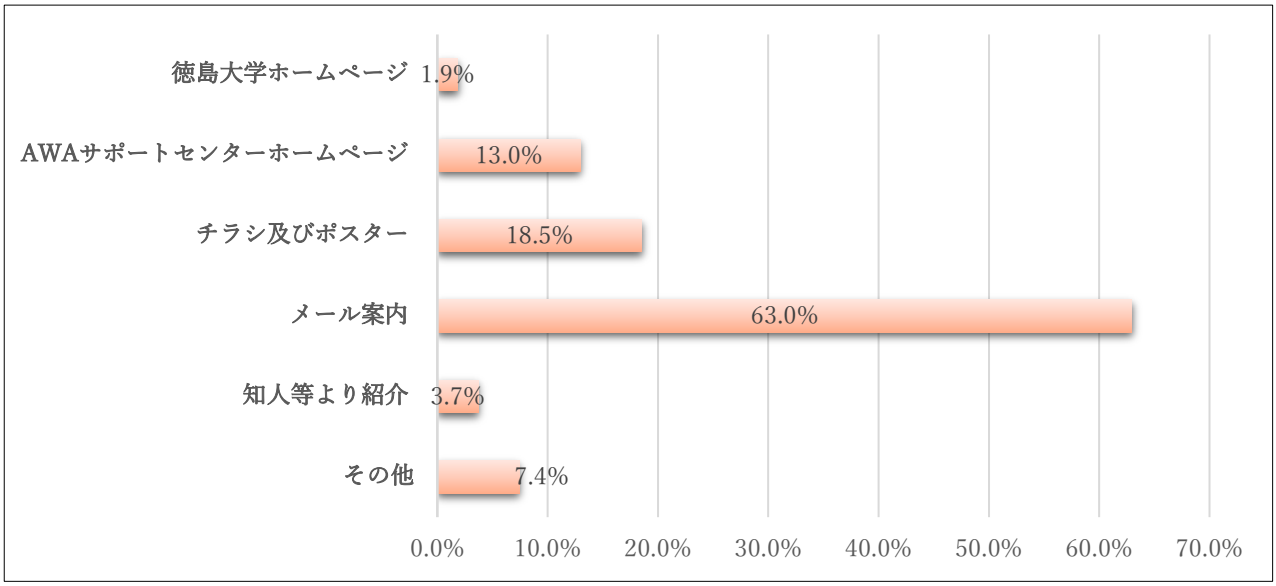


・本セミナーは期待どおりだった



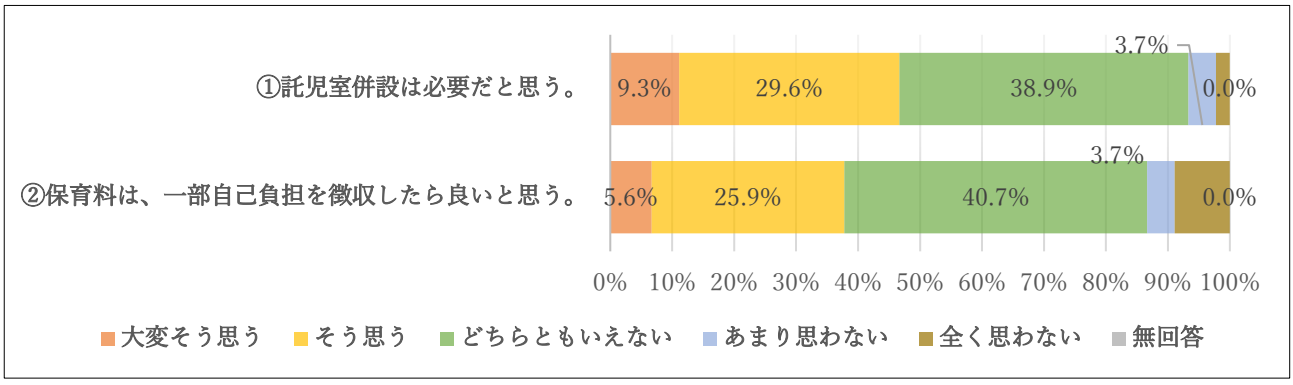
期待度は、『本セミナーに期待していた』に対して、94.4%が『大変そう思う』『そう思う』と回答しており、
満足度は、『本セミナーは期待どおりだった』に対して、90.7%が『大変そう思う』『そう思う』と回答している。
また、期待度の平均値は 5 点中 4.3 点、満足度は 4.2 点であり、期待度、満足度ともに高かった。

問．英語論文セミナー2021 の開催はどのように知りましたか。該当する箇所すべてにチェックをいれてください。



開催の広報効果については、『メール案内』が 63.0%と最も高く、次いで『チラシ及びポスター』が 18.5%、『AWA サポートセンターホームページ』は 13.0%であった。

問．オンラインで業務時間外のセミナーを開催する場合の託児についておうかがいします。



『託児室併設は必要だと思う』に対して、『どちらともいえない』が 38.9%と最も多く、『大変そう思う』『そう思う』が同割合の 38.9%であった。『保育料は、一部自己負担を徴収したら良いと思う』に対して、『どちらともいえない』が 40.7%がと最も多く、『大変そう思う』『そう思う』が 31.5%であった。オンライン開催時の託児室併設、および費用の一部自己負担については見解が定まらない傾向がみられる。